

～ひとごとではなく、「自分ごと」、「みんなごと」として市民・行政が協働！～

“みんなごと”のまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」

令和元年度実績報告書

「まちづくり・お宝バンク」の取組提案 実績（令和元年度）

京都のまちの様々な課題の解決を「ひとごと」とせず、市民と本市が共に「自分ごと」、「みんなごと」と捉えて協働するまちづくりを推進するため、広く市民の皆様から、京都がもっとよくなる、もっと住みやすくなる、まちづくりの取組提案を募集し、「まちづくり・お宝バンク」に登録・公開するとともに、提案の実現や市政への反映に向け、多彩な市民力・地域力を活かした、きめ細かなサポートを行っている。

1 「お宝バンク」取組提案者の主な活動

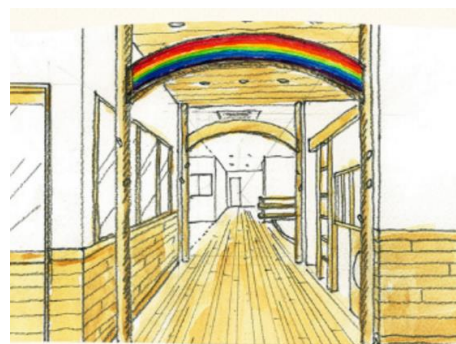
平成31年4月

京都で医療的ケア児と共に成長するインクルーシブ保育園 “にじのうた保育園”を開園

取組提案者: にじのうた保育園, レディーフォー株式会社

にじのうた保育園では、医療的ケア児や、障害の有無に関わらず、ともに育ちともに遊ぶ環境を提供するインクルーシブ保育園を開園するため、レディーフォー(株)のクラウドファンディングで募集し、平成31年3月15日に目標額100万円を達成しました(実績額311万8千円)。この資金を元に、平成31年4月から二条城北で、京都市初の医療的ケア児を受け入れる、小規模保育事業所(認可園)を開園しました。

提案者同士を京都市が
マッチング!!



令和元年5月

発達障害や知的障害のある子どもを対象とした 「お金で学ぶさんすう教室」を開催

取組提案者: お金で学ぶさんすう



発達障害や知的障害のある子どもを主な対象に、生活で必要なお金のやりくり(算数)について、調理体験を通して学ぶユニークなプログラム「お金で学ぶさんすう」を令和元年5月に開催しました。令和元年度は、他にも数回プログラム開催するとともに、11月からは市民サポーター派遣制度を利用し、団体パンフレットの作成を通して、団体のミッション、ビジョン等を掘り下げて考え直す機会となりました。

提案者とサポーターを
京都市がマッチング!!

令和元年7月

市販薬情報の冊子(クスリ早見帖)を作成して 全国の医療現場に広く配布

提案者同士を京都市が
マッチング！！

取組提案者:平 憲二氏(「㈱プラメドプラス」代表取締役社長),
レディーフォー株式会社



市販薬が多様化し、新しい成分や配合でのクスリが次々と市場に出回っているが、医療機関にはその情報がうまく届いていないという現状があります。

患者にも医療従事者にも大事な情報なので、多くの医療機関に市販薬の情報源を置いてもらい、診療に役立ててもらいたいという取組提案者の思いがあり、市販薬の情報を集めた「クスリ早見帖」を無償で全国の医療機関に配布するため、クラウドファンディングを実施し、令和元年7月に目標額(60万円)を達成(実績額71万4千円)しました。

令和元年8月(平成28年4月～)

「京都市スタートアップ支援ファンド」 による創業支援

提案者同士と京都市
が連携！！

取組提案者:京都信用金庫, 京都中央信用金庫,
フューチャーベンチャーキャピタル,
日本政策金融公庫, 京都リサーチパーク



創業初期のベンチャー企業の資金調達支援としてファンドを設立し、ファンドを核とした創業支援体制を構築するため、取組提案者と京都市の相互連携・協力を目的とした協定を締結しました(平成28年4月)。

現在(令和2年4月時点)、計16社の投資先企業を決定し、創業支援を実施しました。

【投資先企業の実績(令和元年度)】

- ① ㈱サビア (R1.5.14 投資実行)
 - ② ㈱坂ノ途中 (R1.5.15 投資実行)
 - ③ ㈱Space Power Technologies (R1.6.5 投資実行)
 - ④ フリースタイルディスプレイ㈱ (R1.8.8 投資実行)
- ※H28～30年度は「リボンディスプレイジャパン㈱」をはじめ、計12社へ投資実行済

令和元年10月

ヘルプマークの普及に努める取組提案者が 「市民ふれあいステージ2019」に出演しました！

提案者と京都市
が連携！！

取組提案者:ピア・パレードおぐらひろみ

令和元年10月16日、梅小路公園にて開催された「市民ふれあいステージ」におぐらひろみさんが出演しました。おぐらさんがステージに上がると、FM京都α-ステーションの寺田アナウンサーとの掛け合いで、多くの来場者が詰め寄る会場に向けて、ヘルプマークの説明をされました。その後、おぐらさんは踊りながらアカペラで「もみじ」を歌われ、会場のみなさんも一緒に歌いました。多くの来場者のみなさんにも、「ヘルプマーク」の啓発を通じて、周囲の方々からの配慮が必要な方がいるということを知っていただく機会となりました。



令和元年10月

「認知症にやさしいまちづくり」のための ランニングイベント～RUN伴～の開催

提案者と京都市が
連携！！

取組提案者: 高齢者福祉施設西院^{さいいん}

RUN伴とは、認知症になっても暮らしやすいまちづくりを目指して取り組むランニングイベントです。令和元年度の「RUN伴2019」京都では、「Connecting the dots!(点と点をつなぐ)」をテーマとして、10月20日(日)に開催されました。

上京区のルートでは、市長のスタート合図のもと、上京区長がランニングをスタートされ、新京極商店街内のろっくんプラザにおいては、ゴール地点でのフィナーレイベントが盛大に開催されました。

「認知症にやさしいまちづくり」をキーワードに地域の方同士がつながり、広く思いを共有できる機会になったと考えています。



令和元年11月

全国からカエル好きが集まる蛙秋祭り (灰屋かわづ秋祭り)を開催！

提案者と様々な
団体が連携！！

取組提案者: 長藤 美奈氏(「蛙の駅」運営者)



京都市の山間部、京北地域において「自然愛好家・蛙好きの憩いの場」を作りたいという思いから、取組提案者である長藤氏が移住され、「蛙の駅」を始められました。駅には蛙グッズや置物がいたるところにあり、敷地内には自然を身近に感じながらバーベキューやキャンプができるスペースもあります。

令和元年11月には、京北の灰屋地域を盛り上げていくため、蛙秋祭り(灰屋かわづ秋祭り)を開催し、全国各地からカエル好きが祭りに集まってきました。

令和元年11月

不登校になった小中学生の居場所づくりを目指す

提案者同士を京都市が
マッチング！！

取組提案者: 下村 和也氏(「学習支援塾エール 山科校」運営者),
レディーフォー株式会社



近年、不登校の小中学生は増加の一途をたどり、現在、14万4千人を超え(平成29年度)、社会課題の一つとなっています。

普段は塾経営を行っている下村氏は、そのような子どもたちが、学校以外にも気軽に集まれる拠り所として、また授業のフォローも兼ねた楽しい学び舎として、無料で利用できる場を作ることを構想(論理的な思考力を身につける講座やプログラミング講座も実施予定)されています。その構想実現に向けた活動資金を集めるためにクラウドファンディングを実施し、令和元年12月に目標額29万円を達成(実績額36万円)しました。

令和元年12月

認知症の方が役割を持って働く 「まあいいか cafe」を開催

取組提案者: 平井 万紀子氏(「まあいいか labo きょうと」代表)



「まあいいか labo きょうと」代表の平井氏が、認知症になった母親との同居を契機に、東京で実施されている「注文をまちがえるレストラン」を参考に、認知症の方が接客をされる「まあいいか cafe」を定期的に開催されています。

令和元年12月には、河原町五条の「マールカフェ」にて「まあいいか cafe」を開催し、認知症の方の接客やふれあいを通して、延べ60人あまりのお客が心地よい時間を過ごされました。

提案者の活動を
京都市が広報支援！！

令和元年12月

伏見が発祥！「寒天の発祥の日」(12月27日)が認定

取組提案者: 伏見寒天プロジェクト

江戸時代の寒い冬に偶然できたという寒天。伏見寒天プロジェクトの植野さんの調べでは、古文書に寒天ができるきっかけとなった場所が「伏見御駕籠町」と記されていたそうで、その場所に寒天発祥の地の記念碑を建立したいと、寒天を使った調理イベントや講演会・イベント出店など、これまで幅広く活動してきました。

そして令和元年度に、「寒天発祥の日」が日本記念日協会により認定されました。



提案者の活動を
京都市が広報支援！！

令和2年3月

取組提案者の活動拠点「コクリエ・ラボ」がオープンしました！

取組提案者: 凸凹フューチャーセンター

4月2日は「世界自閉症啓発デー」、4月2日から8日は「発達障害啓発週間」です。それに先立ち、凸凹フューチャーセンターの活動にも使用される拠点「コクリエ・ラボ」が令和2年3月14日伏見区桃山南にオープンしました。

開放的なホールや和室、コワーキングスペースなど、様々な活動の拠点として活用できそうな場です。集合イベントが難しい昨今の状況に合わせて、オンラインイベントも予定されています。



提案者の活動を
京都市が広報支援！！



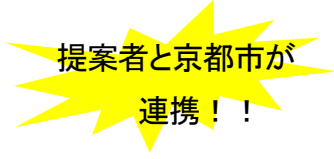
チャレンジ！！オープンガバナンス(COG2019)に 京都市の2つのチームがファイナリストに選出！

【チーム1】

取組提案者:Pharmatching(ファーマッチング)しておくれやす☆

【チーム2】

取組提案者:チームKyo-So(共創し, 協奏し, 京想する)



チーム1:
Pharmatching しておくれやす☆



「チャレンジ！！オープンガバナンス 2019」(以下「COG2019」という。)は、自治体が地域課題(子育て・家族・教育, 高齢化・介護・医療・健康, エネルギー・環境, 防災・防犯, 産業振興, まちづくり・交通, 地域プロモーション, 観光, 雇用など)と関連データを提示し, それに対して市民がアイデアをまとめるプロセスと成果が審査・評価されるコンテストです。

COG2019では, 京都市が提示した地域課題に対して市民有志等から成る2つのチームが結成されました。両チームとも, そのアイデア・取組活動と京都市のサポート・連携が高く評価され, 見事最終審査(ファイナリスト)に進出, うち1チームがオンライン視聴者によるスマートフォン投票で1位に選ばれました。



チーム1:Pharmatching(ファーマッチング)しておくれやす☆
(ファイナリストに選出, スマホ投票1位獲得!)

【地域課題】 市民による薬局・薬剤師等の活用推進
(健康サポート薬局の普及)

【アイデア名】 ICTの活用により市民と薬局・薬剤師と繋がり合う事ができ, 身近に相談できる地域社会を実現する新サービス“Pharmatching(ファーマッチング)”

【アイデアの概要】

少子化による人口減少, 長寿社会の到来により, ファーストアクセスの相談窓口として“かかりつけ薬局・薬剤師”の機能強化と, 未病・予防も含めた生活支援のサポートが求められている。ICTを活用したプラットフォームサービスの提供により, “薬剤師と相談しやすい”社会を実現し, 地域住民の安心と健康に寄与することを目指す。

チーム2:
Kyo-So(共創し, 協奏し, 京想する)



チーム2:Kyo-So(共創し, 協奏し, 京想する)
(ファイナリストに選出!)

【地域課題】 森林・林業の持続可能な未来と地域振興

【アイデア名】 京都の木とICTの目につながる心～林福連携「京想」プロジェクト～

【アイデアの概要】

林業を主産業とする京都北部の農山村地域は, 人口と担い手の減少, 木材需要の低下により疲弊している。林福連携(林業と福祉の連携)による世代を超えたつながりで創る木工製品とICTを活用したつながり促進の仕組みを作ることにより, これらの解決を目指す。

「COG2019」オンライン審査会の様子



2 チーム京都の活動

取組提案者:移住応援チーム及び京北振興チーム

京都で暮らす魅力の発信や移住相談への対応など、京都市への移住促進に取り組むため、移住応援や空き家活用に取り組む「まちづくり・お宝バンク」取組提案者と京都市職員で、「チーム京都・移住応援チーム」を結成しました。また、右京区京北地域への移住促進を進め、地域の活性化を図るため、「京北振興チーム」も結成しました。両チームが力を合わせ、京都ならではの市民力、地域の多様な魅力を活かした取組を進めています。

【両チームの取組（一部紹介 令和元年度）】

- ・移住相談窓口（市内，京北，東京）の運営
- ・京都移住茶論などのイベント開催（年10回）
- ・ホームページ「住むなら京都」での情報発信



移住イベントの様子

「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」の取組

取組提案者:文化庁京都移転私たちができること推進チーム



「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」第1回会議

文化庁京都移転を契機に、京都に息づく「日本伝統の生活文化、精神文化や、多彩な文化芸術」の更なる振興・発信に取り組むため、「まちづくり・お宝バンク」取組提案者と京都市職員でチーム京都を結成しました。「文化の力で日本を元気にするために、自分たちに何ができるか」を考え行動することにより、他の市民や様々な団体等に、共に行動する動きが、市民運動的に広がることを目指しています。



「文化庁地域文化創生本部設置記念式典」



「いきいき春の文化祭」



松山大耕氏による坐禅体験

(取組提案者)

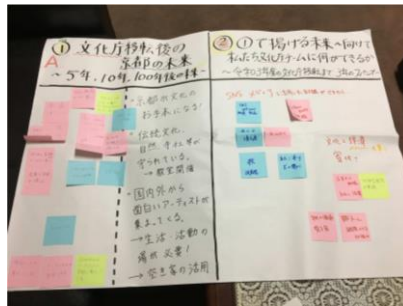
笹岡隆甫氏 (未生流笹岡家元), ジャックパイエ氏・リムボン氏 (合気道無限塾・立命大教授), NPO法人障害者芸術推進研究機構 (天才アート KYOTO), NPO法人子育ては親育て・みのりのもり劇場, NPO法人劇研, メディア支援センター, ヤッサン一座の紙芝居, 竹内弘一氏 (KBS 京都), 松山大耕氏 (退蔵院副住職), 京都学生祭典, 京都青年会議所, 京都商工会議所青年部, 京都市 PTA 連絡協議会, 京都料理芽生会

(京都市)

文化庁移転推進室, 京都創生担当, SDGs・市民協働推進担当, 文化芸術企画課, 文化財保護課, 教育委員会

【チームの取組 (令和元年度)】

- ・「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」第5回会議において, チーム活動の今後の方向性を検討するワークショップを実施(R1. 7. 18 会場: 市役所分庁舎会議室)



「文化庁チーム」第5回会議の様子 (ワークショップ形式で実施)

- ・京都市 P T A フェスティバル (第 22 回) において, 天才アート KYOTO のお絵かきコーナー, 作品展示を開催(R1. 12. 14 会場: 国際会館イベントホール)



- ・「文化庁京都移転推進シンポジウム ～文化のチカラで魅せる新しい未来～」において, 天才アート KYOTO の作品展示及びチーム京都を紹介する「ロールアップバナー」を設置 (R1. 12. 21 会場: 国際会館 Room A)

- ・「文化庁ウェルカム動画 (※)」の制作及び公開(R2. 3. 27)

等



「文化庁ウェルカム動画」3種類の画像

- (※) 文化庁チームメンバーによる, 文化庁の京都移転を歓迎する要素も含めたウェルカム動画を制作し, 幅広い層の方に発信して, 京都文化及び文化庁の京都移転について周知するとともに, 文化庁京都移転に向けた市民の機運醸成を図るもの。

(文化庁チームメンバー3団体の取組紹介やメッセージリレー動画など, 3種類の動画を公開)